

令和7年度 沖縄県県民の森指定管理者制度運用委員会における
モニタリングの検証結果について（令和6年度実績分）

1. 施設名：沖縄県県民の森
2. 開催日時：7月31日（木）14時00分～15時30分
3. 開催場所：沖縄県庁9階第4会議室
4. 出席者：委員4人中 4人出席
（会長） 神谷 繁 （沖縄県中小企業診断士協会）
（委員） 篠原 礼乃 （沖縄美ら島財団）
（委員） 木島 真志 （琉球大学）
（委員） 金城 聡子 （恩納村立山田保育所）

（事務局） 酒井、祖慶 （沖縄県農林水産部森林管理課）
（指定管理者） 柏倉、宮里 （沖縄文化スポーツイノベーション株式会社）
5. 検証事項：沖縄県県民の森（令和6年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
（1） モニタリングは適正に行われているか
（2） 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
（3） 利用者アンケートや苦情に+対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
（1） 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
（2） 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
令和6年度モニタリングは妥当である
9. 主な質疑・意見
（1） 公課費が急増している。
（2） 指定管理者の自主事業について、利用者アンケートの回収率が低い。
（3） 管理・運営に係る経費が上昇しており、物価スライドを反映させた指定管理費にする必要がある。
（4） 遊具の管理費用についても指定管理費に含めるべきではないか。
（5） 利用者の増に関わらず、自動販売機収入が増えていないのは水筒等を持参している人が多いという可能性もある。
（6） 木のふれあい館の2階にはカフェスペースがあり利用しているが、上がる際に階段に手すりがなく、保育所の園児が登ることに苦労している。手すりの設置をお願いしたい。
10. 会議の公開状況：公開

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和6年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認・評価	
1.	維持管理業務	1
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
	(8) 植栽管理	
2.	運営業務	6
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等 (又は入居率等)	
	2) 施設稼働率	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	10
II.	サービスの質の確認・評価	12
III.	財務状況の確認・評価	15
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
IV.	総合評価	19
1.	目標	
2.	評価結果	
附表	経営状況分析シート	21
	利用者アンケート	23

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和 6 年度
指定管理者	沖縄文化スポーツインベーション株式会社 指定期間：令和 5 年 4 月～令和10年 3 月	所管課	農林水産部 森林管理課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①エリア管理 利用状況や実績をもとに、キャンプエリアや広場エリア等季節に合わせた管理を徹底する	○		< 日常清掃 > 実施日：313日 実施体制：6 人 内容：公園施設清掃作業			
②トイレ清掃 ・常に清潔を保つ ・トイレトーパーのストックを十分に配置する。 ・巡回点検は利用人数に応じて回数設定を行う。	○		< 定期清掃 > 実施日 51日 実施体制 2 名 内容：塵芥処理 ①除草・清掃作業について記載あり。	報告書、現場写真及び現地視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施しているが、利用者アンケートでは「トイレの石鹸の補充、室内清掃の頻度を増やしてほしい。」と要望があった。 【課題】 利用者が増え、ストックの補充が間に合わなくなっている。また、トイレの清掃の回数を増やす必要がある。
③施設内清掃 利用者の妨げにならないよう、清掃日程と工程の報告を事前に行い実施する。	○		②、③について記載なし。			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①貯水槽清掃及び水質検査 時期：年1回、7月頃 業者：読谷共同産業株式会社		○	専門業者に委託し、令和6年8月13日に実施した。	報告書、現場写真及び現地視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 高架水槽及び受水槽点検において、錆による沈殿物がある（毎年度、同報告あり） 【課題】 水の利用量が少ないときに生じる問題のため、花園等散水やトイレ清掃等による計画的な水利用を実施する必要がある。
②簡易専用水道検査 時期：年1回9月頃 業者：沖縄県環境科学センター		○	専門業者に委託し、令和6年8月14日実施した。			【現状分析】 吐出口空間は流入管径の2倍以上が望まれると業者からのコメントあり。 【課題】 現状で不具合は生じていない。修繕の必要性があるか確認する。
③浄化槽維持管理業務 毎月1回 業者：T-seed恩納環境衛生管理		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。			【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし。
④消防用設備点検 時期：年2回、8月・3月 業者：読谷共同産業株式会社		○	専門業者に委託し、令和7年2月20日に法定点検を実施。 消化器具、非常警報器具及び設備、配線に不備があったが、令和7年5月27日に改修した。			【現状分析】 消防用設備点検時に不良箇所があったが、改修済み。 【課題】 特になし。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
電気保安管理業務 (業者名：沖縄電気保安協会) 月次：2か月毎1回 年次：年1回		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	報告書及び現場視察時に確認。特に問題なし。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし
施設における機械警備 期間：通年 業者：株式会社琉球保安警備隊		○	専門業者に委託し、機械警備を通年実施した。			
夜間（常駐）警備 人数：1名 期間：キャンプ場の宿泊利用期間 業者：合資会社全沖縄警備保障		○	専門業者に委託し、適切な防犯対策を行った。 実施日：257日 警備員：1名			
一般廃棄物処理 時期：週1回程度		○	記載なし			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
修繕費 500,000円		○	基本協定第 条に基づき、施設・設備等の小規模修繕（目安：1件修繕30万円未満）については適切に行った。 実績： 553,525円	屋外トイレについて、窓ガラスが破損した箇所が数か所あった。	修繕が必要な箇所について、チェックシートにて報告があった。	【現状分析】 今後、県でトイレの改修を検討しており、その中で修繕を想定している。 【課題】 修繕箇所の見積りを取り、県が修繕すべき箇所（30万円以上）があれば適宜報告する。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品購入の計画なし。	○		記載なし	記載なし	—	【現状分析】 利用者の多い「木のふれあい館」はAEDが設置されていない。必要時は総合案内管理棟まで取りに行く必要がある。 【課題】 設置を検討する必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
< 防犯 > 安全確保に関する責任者を指定し、職員の役割分担を明確にし、安全確保に努める。	○		記載なし	安全確保に係る統括責任者を県民の森所長に想定している。その他職員の役割分担については明確にしていない。ヒアリングにて確認。	事業計画のとおり実施されていない。	【現状分析】 県民の森所長以外の職員の役割が明確になっていない。 【課題】 その他職員の役割分担を明確にする。
< 防災 > ①防災対策として、障がい者等を交え自主的な防災訓練を年2回開催する。 ②台風発生、接近情報を確認し、台風対策本部を設置し対策会議を実施する。	○		①以下の日程で実施した。 9月12日 総合訓練 2月24日 部分訓練 ②記載なし	障がい者を交えて実施は未実施。ヒアリングで確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 防災訓練は事業計画の回数どおり実施された。 【課題】 事業計画のとおり障がい者等を交えて訓練を実施をする。

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
レジ機能を導入し、現金だけでなく、クレジットカードや電子マネーでの支払いも可能にする。	○		記載なし	総合案内管理棟において、クレジットカード及び電子マネーでの支払いが可能。ヒアリングにより確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 概ね事業計画のとおり実施されている。 【課題】 特になし。
日々の売上は、受付業務完了後に売上金と釣銭金の確認を行い、経理本部へ報告し、売上金は定期的に指定銀行口座へ入金する。	○		記載なし	経理部は本部(沖縄市)にて配置。 指定口座に指定管理料、一部売上を入金し、本体別管理口座に資金移動する。 本体別管理口座より業者支払い、給与支払い等を実施。ヒアリングにより確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状】 料金は指定口座に徴収できている。 【課題】 特になし。

(8)樹木管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
倒木等の発生予防 ・折損、傾き、腐朽等の情報を収集する。 ・樹木の診断の結果、処置が必要な樹木について、優先度を設置する。	○		記載なし	樹木診断を行っている様子が確認できない。 また、登山コース及び溪流コース沿いの樹木について下刈りや枝打ち等が不足している。	実施計画のとおり実施されていない。	【現状分析】 樹木診断を行っている様子が確認できない。 登山コース等の樹木の管理について不足している。 【課題】 樹木診断を行っていない場合は、優先度を設定の上、順次実施する。 登山コース・溪流コース沿いの樹木の管理について、作業日を増やす必要がある。
1. 維持管理業務 取組改善案		利用者の増加により、これまで十分に見てこなかった箇所の清掃・管理が求められる。清掃・管理の対象エリアから抜け落ちている部分については、見直しに取り組む必要がある。				

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和 5 年度実績	事業計画 (目標値)	令和 6 年度実績	整合性の検証		現状分析 ・ 課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	65,207	142,434	113,404	174%		【現状分析】 個人やイベント参加者は令和 5 年度と比べ大幅に増加した。 【課題】 団体利用者を増やすことが課題である。
	団体利用者数	9,199		9,241	100%		
	イベント参加人数	200		522	261%		
	計	74,606	142,434	123,167	165%	86%	
評価 (①利用状況)					B		

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率（有料施設のみ）

		令和 5 年度実績	事業計画 (利用可能日)	令和 6 年度実績	整合性の検証		現状分析 ・ 課題
					前年比	計画比	
①平日稼働率	シャワー室	164日	196日	161日	98%	82%	【現状分析】 屋外施設の利用が増加傾向にある。 特にスポーツ広場（グラウンドゴルフ場）が大幅に伸びている。 【課題】 木工室（森のふしぎ館）の利用が低調である。
	キャンプ場	164日	196日	161日	98%	82%	
	パークゴルフ場	51日	196日	42日	82%	21%	
	スポーツ広場 (グラウンドゴルフ場)	55日	196日	146日	265%	74%	
	中央広場	152日	196日	190日	125%	97%	
	研修室 (木のふれあい館内)	17日	196日	25日	147%	13%	
	木工室 (森のふしぎ館)	0日	196日	0日	—	0%	
②土日祝日稼働率	シャワー室	107日	117日	101日	94%	86%	
	キャンプ場	107日		101日	94%	86%	
	パークゴルフ場	81日		63日	78%	54%	
	スポーツ広場 (グラウンドゴルフ場)	52日		101日	194%	86%	
	中央広場	109日		117日	107%	100%	
	研修室 (木のふれあい館内)	1日		10日	1000%	9%	
	木工室 (森のふしぎ館)	0日		16日	—	14%	
①②合計	シャワー室	271日	313日	262日	97%	84%	
	キャンプ場	271日		262日	97%	84%	
	パークゴルフ場	132日		105日	80%	34%	
	スポーツ広場 (グラウンドゴルフ場)	107日		247日	231%	79%	
	中央広場	261日		307日	118%	98%	
	研修室 (木のふれあい館内)	18日		35日	194%	11%	
	木工室 (森のふしぎ館)	0日		16日	0%	5%	
計					168%	57%	
				評価（①利用状況）		C	

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉 県民の森の休園日は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	条例のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし
〈開園時間〉 県民の森の開園時間は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第10条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第10条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	条例のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①受付の多様化 ホームページ内にキャンプサイトのリンクを貼り付けし、利用状況案内を行う。	○		記載なし	ホームページ内にキャンプサイト「なっぷ」のリンクが張り付けられている。	事業計画どおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおりに実施した。 【課題】 特になし。
②利用の許可に関する業務 ホームページにて広場予約を可能とする。	○		記載なし	ホームページにて広場の利用申請をすることは可能だが、予約をすることはできない。	事業計画のとおり実施されていない。	【現状分析】 事業計画のとおり実施されていない。 【課題】 ホームページでの予約を可能にする。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
○ホームページ、SNS、各種媒体を活用して広報、宣伝を行う。 広告費 118,580円	○		イベントのチラシやポスターを作成し、施設内、ホームページ、Instagramで周知を図った。	ホームページ及びInstagramにて確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ホームページ及びInstagramで県民の森及びイベント周知が行われた。 (参考)Instagramフォロワー数 R5年度末 789名 R6年度末 1,686名 【課題】 特になし。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する法律及び条例に基づき、必要な措置を行う。	○		個人情報の保護に関して職員に周知し、適切に管理を行った。	個人情報（名前、電話番号、住所等の記載がある書類は、事務所内の鍵付きの書棚にいれて管理している。 また、パソコン内で保管しているものについては、パスワードを設定し管理している。ヒアリングで確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
自動販売機の設置 収入 400,000円	○		R5 201,991円 R6 203,240円	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 自動販売機の収入がほとんど変わらない。 【課題】 施設の利用者数が165%増え、自動販売機の設置台数を1台追加したが、収入が増えていない。電子マネーでの支払いが可能な自動販売機について検討する。
イベント・教室 備品貸出 収入 727,000円	○		R5 1,309,900円 R6 1,473,800円	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	イベント・教室について、事業計画どおり実施したものは全30件中、4件であった。	【現状分析】 令和5年度に比べ約20万円増加した。イベントについては、事業計画の追加・変更が多い。変更計画書の届出前にイベントを実施した例や事業計画を変更しても実施されないものもあった。 【課題】 内容を十分に検討した上で、事業計画を作成する必要がある。

イベント内容・参加人数

	内容	令和5年度実績 (参加人数)	令和6年度 事業計画	令和6年度 変更計画	令和6年度実績 (参加人数)	整合性の検証	現状分析・課題
1	植物観察会		4月		17人	実施 (4月6日)	【現状分析】 事業計画からの変更・追加が多い。 イベントは小規模のものが多い。
2	親子でどんぐり工作		8月		16人	実施 (8月25日)	
3	初心者向け トレイルランニング	23人	10月		13人	実施 (10月14日)	
4	シダ植物観察会	15人	3月		15人	実施 (3月8日)	
5	初夏のチョウ類 自然観察会		5月	変更	13人	実施 (4月6日)	【課題】 自主事業（イベント）について年間計画を立てる際は精査し、未実施とならないようにすること。
6	秋のチョウ類 自然観察会		12月	変更	2人	実施 (10月19日)	
7	秋の親子きのこ キャンプ		11月	変更	32人	実施 (10月12日,13日)	
8	星空ピクニック	55人		追加	45人	実施 (1月4日)	
9	県民の森で過ごす 山の日			追加	142人	実施 (8月11日,12日)	大・中規模イベントの開催の検討が必要である。
10	食べられる 野草自然観察会	21人		追加	11人	実施 (12月7日)	

11	森のクラフト体験			追加	8人	実施 (8月17,18,31日)
12				追加	36人	実施 (11月10日,24日)
13				追加	25人	実施 (12月8日,22日)
14				追加	14人	実施 (1月12日,26日)
15				追加	48人	実施 (2月9日,23日)
16				追加	27人	実施 (3月9日,23日)
17	みんなで！ 森のクラフト体験			追加	22人	実施 (11月30日)
18				追加	20人	実施 (2月23日)
19				追加	16人	実施 (3月21日)
20	海の危険生物			追加 (6月)		講師体調不良の ため未実施
21	アダンの根の筆づくり	1人	7月			最少催行人数以下で あったため未実施
22	ハイビスカスの 栽培と咲かせ方		8月			講師日程合わず 未実施
23	かえるの王国	8人	9月			講師日程合わず 未実施
24	植物観察会	26人	10月			未実施
25	帰化植物観察会	8人	10月			台風13号により 中止のため未実施
26	県産、国産材 利用拡大活動		10月			未実施
27	樹木観察会	15人	5月	変更 (11月)		雨天中止のため 未実施
28	有用植物自然観察会	4人	1月			講師日程合わず 未実施
29	星空ピクニック		-	追加 (2月)		雨天中止のため 未実施
30	食を楽しむ大人キャンプ			追加 (3月)		最少催行人数以下の ため未実施
ー	海を渡るチョウ アサギマダラの話	4人				令和5年度実施
ー	初めての親子キャンプ	20人				令和5年度実施
計		200人			522人	

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	キャンプ場以外の予約についてもホームページ上でできるようになれば、利用者の利便性向上につながる。
-----------------------------	--

II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法			紙	回答者数	754名	アンケート内容		別紙参照	
評価項目			第三者（利用者等）評価				指定管理者		現状分析・課題
			令和5年度 評価	令和6年度 目標	令和6年度評価				
維持 管理 業務	施設・設備 管理	〈満足度〉 98% 満足 80% やや満足 18% やや不満 1% 不満 1%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 98% ・満足 85% ・やや満足 13% ・やや不満 1% ・不満 0%	S	（要望への対応） 令和6年10月13日に 登山コースにて作業 を実施。	（自己評価） 適宜見回り散策路へ 飛び出ている枝や竹 等の切取り、倒木の 片付け、危険と感じ た立枯れ木は伐倒処 理を実施。	【現状分析】 【課題】 登山コース・溪流 コースの樹木管理を 適宜行う。	
		〈改善要望〉 登山コースなどは危険な箇所が 多々ある。							
運営 業務	接客 対応	〈満足度〉 98% 満足 85% やや満足 13% やや不満 1% 不満 1%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 99% ・満足 87% ・やや満足 12% ・やや不満 1% ・不満 0%	S	（要望への対応） 対応として、森のふし ぎ館入口の入口に木 のふれあい館に職員 常駐している旨の記載 をし、用具貸出棟は 総合案内棟に職員常 駐している旨の記載を しております。	（自己評価） 繁忙期の職員配置は 工夫し、利用者の利 便性を高めるように 努めます。	【現状分析】 安全管理の上でもス タッフ常駐は必要で あるが、配置できて いない。 【課題】 受付体制の周知が必 要である。	
		〈改善要望〉 冒険広場及び森のふしぎ館につ いて、スタッフが不在。どこで 受付をしているのかわからず不 便。							
施設・設備	施設・設備	〈満足度〉 98% 満足 82% やや満足 16% やや不満 2% 不満 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 99% ・満足 85% ・やや満足 14% ・やや不満 1% ・不満 0%	S	（要望への対応） ①1日3回ほど見回 りながら詰まりへの 対処、ペーパー切れ の補充等を実施。 ②プロジェクターのス イッチ入れ忘れ、又は 利用者がリモコン操 作でいじってつかない 場合もあり、適宜見 回り対応。 ③1階段側にご利用 案内を掲示し対応。	（自己評価） ①雨降りの際キャン プ利用者が多い時 は、掃除してもすぐ に汚れる。出入口へ マットを置いている が変わらない。 ②リモコン等には触 れないよう案内の掲 示で対応したい。 ③2階の活用に向けて 休憩所などの明記を徹 底する。	【現状分析】 利用者の増加によ り、これまで十分に 見てこなかった箇所 の清掃・管理が求め られる。 【課題】 清掃・管理の対象エ リアから抜け落ちて いる部分については、 見直しに取り組む必 要がある。	
		〈改善要望〉 ①キャンプ場のトイレを綺麗に してほしい。 ②森のふしぎ館のシアタールー ムの映像がつかなかった。 ③木のふれあい館の2階に行っ てよいのか案内がないのでわか りづらい。							

運 営 業 務	利 用 条 件	〈満足度〉 98% 満足 81% やや満足 17% やや不満 2% 不満 0%	〈満足度〉 80%以上 評価： A	〈満足度〉 99% ・ 満足 87% ・ やや満足 12% ・ やや不満 1% ・ 不満 0%	S	(要望への対応) ①以前より要望の多かったキャンプ場での焚き火がR7年8月より利用開始となる。 ②出入口には同伴での利用を禁止していることを掲示しているが、ホームページでも周知対応する。 ③保護者等へ目につくよう注意を促す張り紙をして対応している。	(自己評価) ①変化するニーズに対応でき嬉しく思う。焚き火実施条件としては厳しく設定を行っている。 ②ワンフェスの開催で一部登山コース利用の案内が出来たことは良かった。引続き開催したい。 ③マナーをどのように喚起していくのか課題があると感じている。また、おもちゃを壊しても報告がないのも課題である。	【現状分析】 利用者からの要望があった「キャンプ場での焚き火」について実施できるよう積極的に取り組んでいた。令和7年度の8月から実施予定である。 【課題】 禁止事項をホームページ等で周知する必要がある。
		〈改善要望〉 ①キャンプ場での焚き火利用の開始 ②犬を連れての登山が禁止されていること等、あらかじめ禁止次項をホームページで周知してほしい。 ③木のふれあい館で小学生の子どもが幼児の隣で危ない遊びをするので、注意事項があると助かる。						
自 主 事 業		〈満足度〉 100% アンケート回収率 34名/200名、17% 満足 98% やや満足 2% やや不満 0% 不満 0%	〈満足度〉 80%以上 評価： A	〈満足度〉 100% アンケート回収率 30名/522名、6% 満足 76% やや満足 24% やや不満 0% 不満 0%	S	(要望への対応) 木工体験については令和6年8月にイベントを企画し実施、その後申請をして毎月2回開催にて実施。 キャンプ場での料理教室については令和6年度イベント企画（最小催行人数以下のため未実施）し、カートンドック・ピザ作り作りについてはInstagramでも投稿を行った。	(自己評価) 自主事業年度計画はアンケート回答も考慮しながら企画を行っている。 幼児向けイベントや夜間イベントについては安全管理のため、スタッフの配置を多く設定することが必要となり課題もある。 今後もどのように要望に対応を行っていくか検討をしていきたい。	【現状分析】 アンケートの回収率が約6%と低い。 【課題】 自主事業ごとにアンケートを実施する。
		〈改善要望〉 野外で親子で楽しめるイベント、自然観察会、山登りイベント、木工イベント、ワークショップ等のイベントが開催要望されている。						

(各評価項目の平均)	〈満度〉 98.4%	〈満足度〉	〈満足度〉 99%	評価	—	(自己評価)	【現状分析】
	満足 85.2%	80%以上	満足 84%	(②満足度)		繁忙期の職員配置を工夫し、利用者の利便性を高めるように努める。	利用者の満足度は高い。
	やや満足 13.0%	評価：A	やや満足 15%			清掃について利用状況に合わせて定期巡回を増やし清掃を行うように努める。	【課題】 職員の配置について工夫する必要がある。
	やや不満 1.2%		やや不満 1%			今後も利用者の要望を反映しイベント開催を行う。	清掃の管理が行き届かないエリアがある。
	不満 0.4%		不満 0%	S			利用者の要望を反映するために、自主事業の内容や開催時期を事前に十分検討した上で実施する。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

質 II 取の. 組確サ 改認I 善・ビ 案評ス 価の	森のふしぎ館・冒険広場のスタッフの未配置について、ホームページ等周知が必要。 自主事業については、アンケートの回収率が低く、満足度を判断しづらいため自主事業ごとにアンケートを配布し、回収に取り組む。
---	---

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		R 5 年実績 (円)	当初事業計画 (円)	変更事業計画 (円)	R 6 年実績 (円)	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
利用料金 収入	シャワー室	290,800	4,327,000		248,900	86%	—	
	キャンプ場	2,510,925			2,079,950	83%	—	
	パークゴルフ場	448,300			335,685	75%	—	
	広場	31,950			153,450	480%	—	
	研修室	4,260			49,475	1161%	—	
	木工室	0			62,640	—	—	
	備品貸出（県所有備品）	521,350	373,000		496,760	95%	133%	
計		3,807,585	4,700,000		3,426,860	90%	73%	
自主事業 収入	電気使用料（NTTドコモ）	269,268	247,000		272,588	101%	110%	
	サクラ管理	142,263	記載なし		166,221	117%	—	
	自動販売機	201,991	400,000		203,240	101%	51%	
	教室・イベント、備品貸出	1,309,900	727,000		1,473,800	113%	203%	
	計	1,923,422	1,374,000		2,115,849	110%	154%	
指定管理料		27,627,000	27,404,000		27,404,000	99%	100%	
合計（A）		33,358,007	33,478,000		32,946,709	99%	98%	
〈現状分析・課題〉								
＜現状分析＞								
・利用料金収入について、広場・研修室の収入が増加し、キャンプ場・シャワー室の収入については減少した。								
＜課題＞								
・収益性の高いキャンプ場の利用については、利用率を上げる必要がある。								
・木のふれあい館 2 階のカフェスペースは自主事業として事業を行うことが可能だが、活用されていない。								

(2) 支出

支出項目		R 5 年実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R 6 年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)	
人件費	職員給与（職員の基本給）	6,779,895	17,160,000		5,622,384	82.9%	—		
	賃金給与（賃金職員の給与）	9,323,524			9,822,180	105.3%	—		
	福利厚生費	8,628	0		17,386	201.5%	—		
	法定福利費（社会保険料等）	2,539,683	2,020,000		2,130,492	83.9%	105.5%		
	手当等（通勤手当）	0	1,200,000		0	—	0.0%		
	計	18,651,730	20,380,000		17,592,442	94.3%	86.3%		
需用費	食料費	0	0		0	—	—		
	消耗品費	1,687,577	350,000		871,933	51.7%	249.1%		
	燃料費	669,653	400,000		726,721	108.5%	181.7%		
	印刷製本費	0	50,000		0	—	0.0%		
	光熱水費	3,627,304	3,000,000		4,572,010	126.0%	152.4%		
	修繕費	600,168	500,000		553,525	92.2%	110.7%		
	計	6,584,702	4,300,000		6,724,189	102.1%	156.4%		
役務費	通信運搬費	117,160	50,000		175,953	150.2%	351.9%		
	広告料	118,580	150,000		118,580	100.0%	79.1%		
	手数料	137,896	50,000		309,671	224.6%	619.3%		
	保険料	127,328	250,000		52,300	41.1%	20.9%		
	計	500,964	500,000		656,504	131.0%	131.3%		
旅費		0	0		0	—	—		
委託料		6,352,482	7,014,000		7,176,326	113.0%	102.3%		
使用料及び賃借料		1,757,539	600,000		1,640,035	93.3%	273.3%		
備品購入費		0	0		0	—	—		
負担金（各種研修等）		52,810	0		46,100	87.3%	—		
公課費（税金）		35,896	600,000		1,607,247	4477.5%	267.9%		
諸経費(負担金)		6,820	0		0	0.0%	—		
自主事業費（イベント）		162,850	0		230,843	141.8%	—		
合計（B）		34,105,793	33,394,000		35,673,686	104.6%	106.8%		
【現状分析】									
光熱水費の高騰により、計画より支出が増加し、公課費（税金）については大幅に増加した。									
【課題】									
収入よりも支出が大きくなっているので、支出を削減する必要がある。									

2. 経営分析指標

評価指標	R 5 年実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	R 6 年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
事業収支 (C) (収入(A)－支出(B))	¥-747,786	84,000		¥-2,726,977	—	—	赤字幅が3倍
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	-2.2%	0.3%		-7.6%	—	—	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	11.4%	14.0%		10.4%	91%	89%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	19.9%	51.4%		15.8%	79%	89%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	18.6%	21.0%		20.1%	108%	112%	委託費（設備管理費、保安警備費の合計）
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	¥369	¥317		¥386	105%	117%	利用者数 123,167人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	¥299	¥260		¥296	99%	114%	
【現状分析】 令和5年度から引き続き赤字となった。							
【課題】 収支差を縮減するため、収入を増やす必要がある。							

評価（③財務状況）

C

【評価基準（③財務状況）】

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	収益率がマイナスとなった。収益性の高いキャンプ場について、利用を推進する必要がある。
------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県と指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置を確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。（コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど） ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	142,434	143,695	147,478	151,257	指定管理者が設定し、評価（100％以上）目標にする。
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	A 評価（80％以上）を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	収支計画を適切に見込み、A 評価（0％以上）を目標とする。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R 5 年度実績	事業計画 （目標 値）	R 6 年度 実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 （点数）	取組改善案	令和 7 年度 目標値
成果指標	①利用状況 P6転記	74,606	142,434	123,167	165%	86.5%	【現状分析】 個人やイベント参加者は令和 5 年度と比べ大幅に増加した。 【課題】 団体利用者を増やすことが課題である。	B	キャンプ場以外の予約についてもホームページ上で行えるようになれば、利用者の利便性向上につながる。	A
	②満足度 P14転	97%	80%	97%	100%	121.3%	利用者の満足度は高い。 【課題】 職員の配置について工夫する必要がある。 清掃の管理が行き届かないエリアがある。 利用者の要望を反映するために、自主事業の内容や開催時期を事前に十分検討した上で実施する。	S	森のふしぎ館・冒険広場のスタッフの未配置について、ホームページ等周知が必要。 自主事業については、アンケートの回収率が低く、満足度を判断しづらいため自主事業ごとにアンケートを配布し、回収に取り組む。	S

財務指標	③財務状況 P17転	収益率	-2.2%	0.4%	-7.6%	347%	-1911%	【現状分析】 令和5年度から引き続き赤字となった。 【課題】 収支差を縮減するため、収入を増やす必要がある。	C	収益率がマイナスとなった。収益性の高いキャンプ場について、利用を推進する必要がある。	A
活動指標	④重点取組事項	アンケート回収件数	679	800	754	111%	85%	【現状分析】 アンケートの回収件数は目標件数へ近づいている。 【課題】 アンケートで上がった要望について改善する。	A	アンケートについて、施設利用だけでなくイベント開催時においても回収に取り組み、満足度や要望等を把握する必要がある。	S

総合評価	①利用状況について、利用者数がコロナ前の令和元年度の数値を超えた。 ②満足度について、令和5年度と同じく全体的に満足度が高い。 ③財務状況について、キャンプ場の利用料金収入の減少が、利用料金収入全体の減少につながっている。収支がマイナスとなっているため、財務指標がCとなった。 ④アンケートの回収件数が目標の数値に近づいているが、アンケートで上がった要望について改善に取り組む必要がある。 各評価項目点数の合計は25点となり、総合評価はAとなった。							A
------	--	--	--	--	--	--	--	---

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

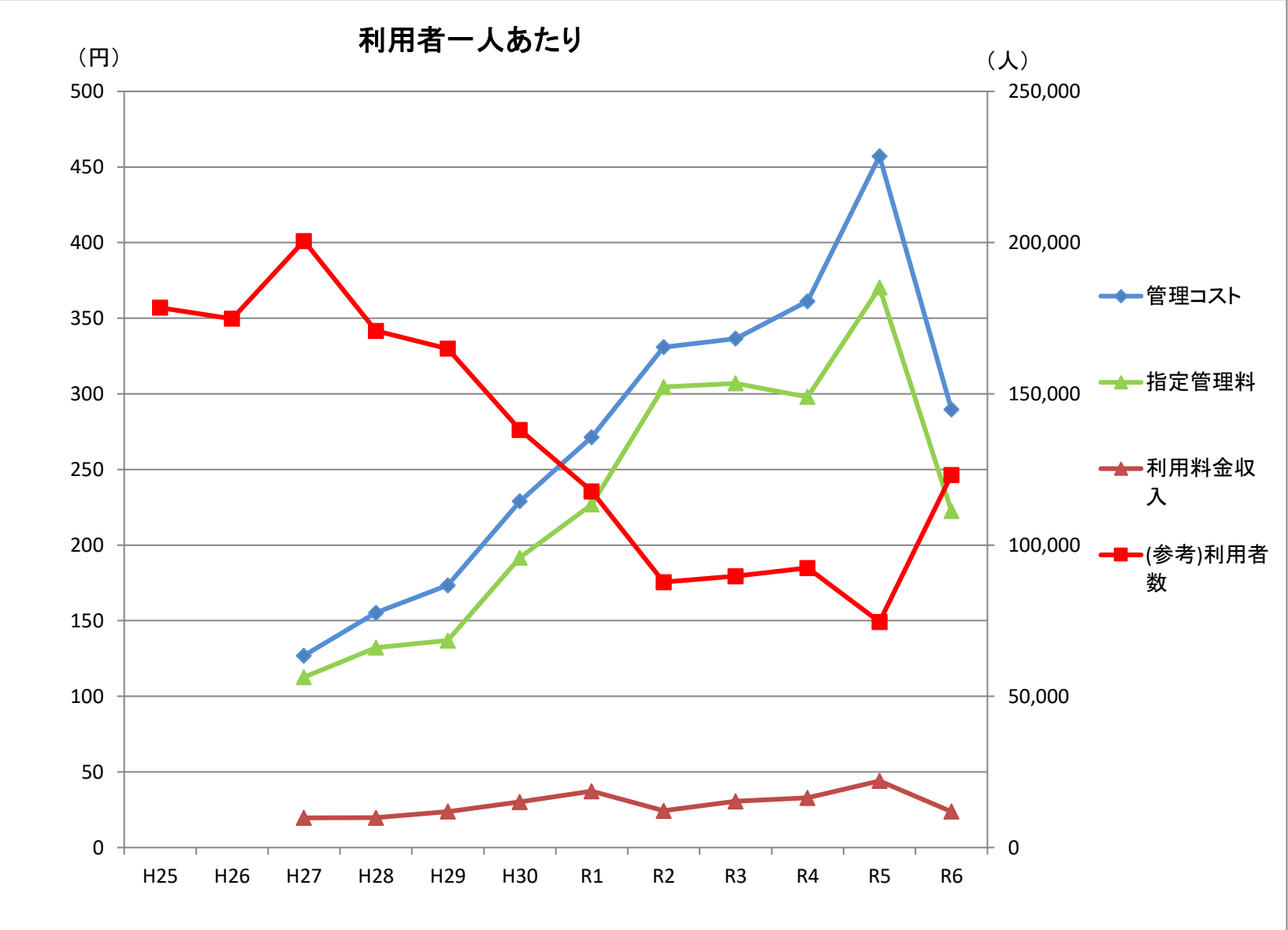
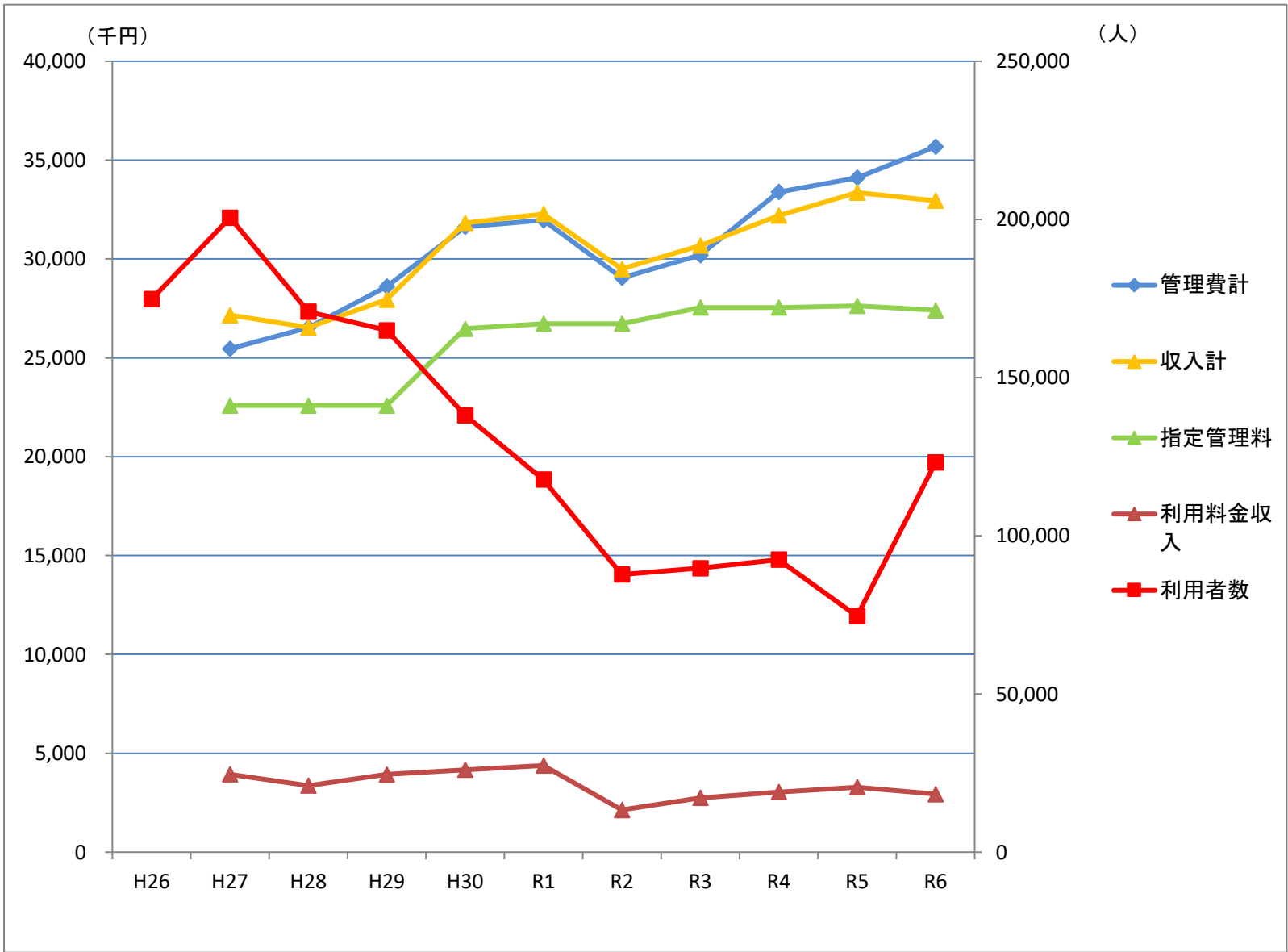
【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称: 県民の森】

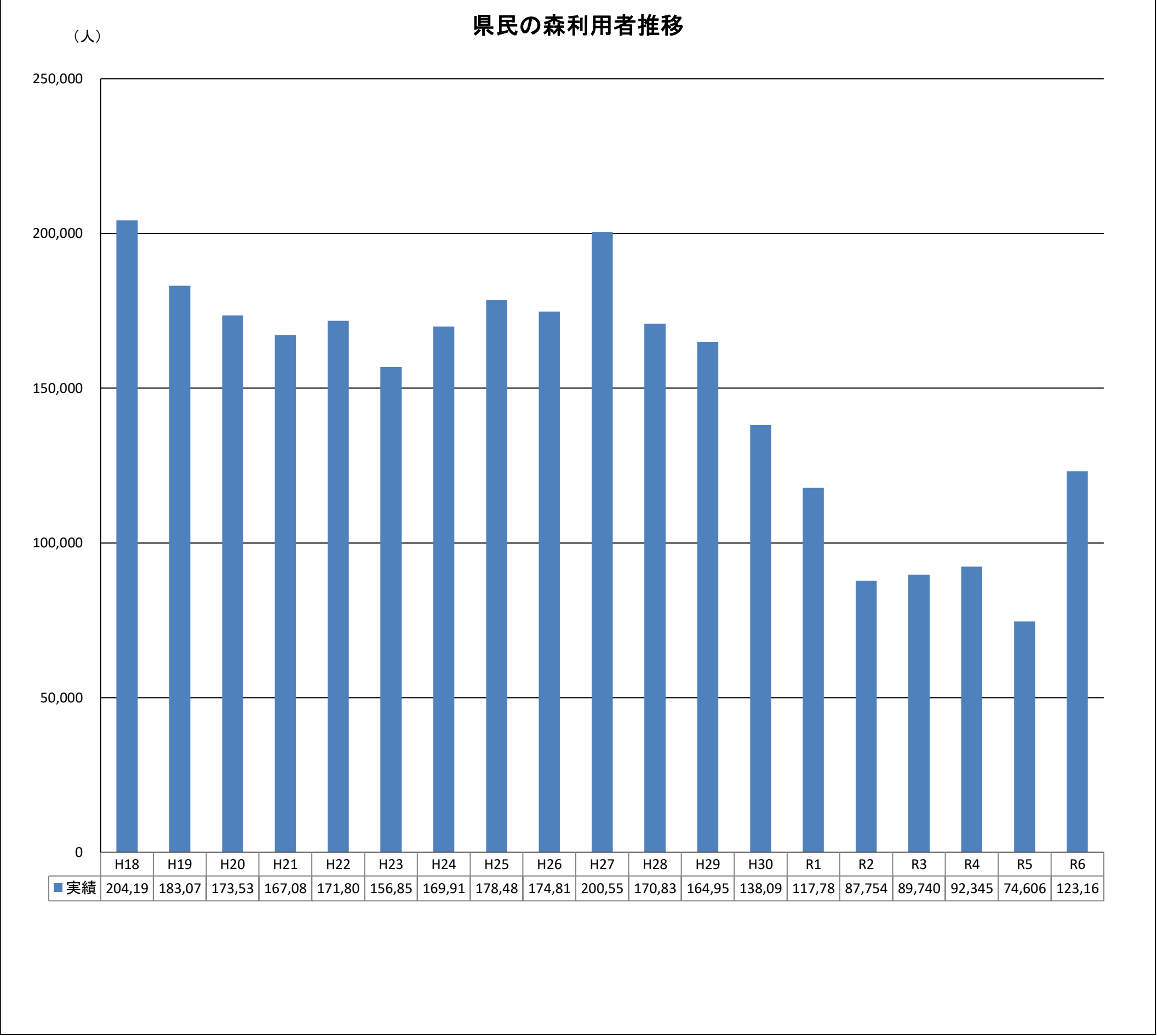
指標			単位	直営	指定管理																					
				H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
成果指標	利用者数	目標	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	159,927	159,927	141,784	114,545	105,386	141,174	142,434	143,695	147,478	
		実績	人	180,748	204,195	183,070	173,537	167,089	171,804	156,856	169,916	178,480	174,814	200,557	170,839	164,955	138,098	117,783	87,754	89,740	92,435	74,606	123,167			
		目標比	%		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	86%	74%	62%	78%	88%	53%	86%		
		H17比	%		113%	101%	96%	92%	95%	87%	94%	99%	97%	111%	95%	91%	76%	65%	49%	50%	70%	61%	41%	68%		
財務指標	指定管理料	千円											22,588	22,588	22,588	26,477	26,723	26,723	27,543	27,543	27,627	27,404				
	県負担割合(指定管理料／管理費計)	%											88.7%	85.1%	79.0%	83.7%	83.6%	92.0%	91.2%	82.5%	81.0%	76.8%				
	利用料金収入(備品貸出抜き)	千円											3,938	3,370	3,930	4,166	4,382	2,134	2,742	3,042	3,286	2,930				
	利用料金比率(利用料金収入／収入計)	%											14.5%	12.7%	14.1%	13.1%	13.6%	7.2%	8.9%	9.4%	9.9%	8.9%				
	収入計	千円											27,161	26,534	27,945	31,819	32,278	29,494	30,680	32,199	33,358	32,947				
	管理費計	千円											25,459	26,531	28,604	31,625	31,960	29,041	30,199	33,389	34,106	35,674				
	収支	千円											1,702	3	-659	194	318	453	481	-1,190	-748	-2,727				
	収益率(収支／収入計)	%											6.3%	0.0%	-2.4%	0.6%	1.0%	1.5%	1.6%	-3.7%	-2.2%	-8.3%				
	/単位	一人あたり管理コスト	円											127	155	173	229	271	331	337	361	457	290			
一人あたり指定管理料		円											113	132	137	192	227	305	307	298	370	222				
一人あたり利用料金収入		円											20	20	24	30	37	24	31	33	44	24				

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和5年度	社会情勢に伴う光熱水費高騰、消耗品費、備品リース代増により、管理費計が収入計を上回った。利用者数は、夏休み期間中の台風及びその復興に大きく影響され、減少している。また、コロナ禍に減少していた前年度の自主事業の人数と比較しても少ないため、自主事業の計画を見直す必要がある。
令和4年度	ウクライナ情勢による光熱水費高騰、リニューアル2施設を開設したことによる人件費・電気代増により、管理費計が収入計を上回った。
令和3年度	令和3年度から宿泊キャンプを通年実施により、夜間警備費分を指定管理料微増した。2施設改修工事後、エアコン等の使用増のため、光熱水費の支出が前年度より増加。
令和2年度	コロナ禍により、利用者数、収入計が前年度より大幅に下がり、利用者一人あたりの管理コスト、指定管理料の負担が増加。一方で、2施設の改修工事により、人件費が抑えられたため、管理費計が前年度より下がった。
平成27年度	大型滑り台遊具等撤去前のため、利用者数が約20万人である。利用者数が多いため、収支が高く一人あたりの管理コスト・指定管理料が低い。



県民の森利用者アンケート(ご意見・ご感想)

ご来園者の皆さまからのご意見・ご要望をお伺い、今後の管理・運営に反映させたいと思いますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- ①来園日 令和 年 月 日
- ②年齢 ☐10代未満 ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上
- ③居住区 ☐沖縄県(市 町 村) ☐沖縄県外()
- ④来園数 ☐はじめて ☐ほぼ毎日 ☐週 1~2回 ☐月 1~2回 ☐年に数回
- ⑤本日は何名で来園されましたか？
幼児()名 小人()名 大人()名 計()名
- ⑥来園の交通手段をおしえてください
☐徒歩 ☐自転車 ☐バイク ☐車()台 ☐公共交通機関
- ⑦利用の目的をお聞かせください
☐遊具利用 ☐ハイキング ☐自然観察 ☐キャンプ ☐森のふしぎ館
☐木のふれあい館 ☐レクリエーション ☐その他()
- ⑧施設管理についてお聞かせください
壊れている施設はなかったか、草刈りや清掃が行き届いているか 等
☐満足 ☐やや満足 ☐やや不満 ☐不満 (改善要望:)
- ⑨施設運営についてお聞かせください
予約や申請方法がしやすいか、マナー違反の利用者を放置していないか 等
☐満足 ☐やや満足 ☐やや不満 ☐不満 (改善要望:)
- ⑩利用のしやすさについてお聞かせください
障がい者が利用しやすいか、施設の開放時間は適切か 等
☐満足 ☐やや満足 ☐やや不満 ☐不満 (改善要望:)
- ⑪職員の接客対応についてお聞かせください
☐満足 ☐やや満足 ☐やや不満 ☐不満 (改善要望:)
- ⑫県民の森へのご意見・ご感想、希望するイベント等があればお教えてください

⑬プレゼント応募ご希望の方はご記入ください

※当選者はニックネームにて園内にて発表をおこない、パスワードは引換時のご本人確認用となります

ニックネーム() パスワード()

最新情報をお届けする SNS(インスタ、LINE)の
フォローをぜひお願いいたします。



Instagram



LINE

労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和6年度
指定管理者名	沖縄文化スポーツイノベーション株式会社		

※ 次の確認事項について、「指定管理者による確認結果」欄の該当する箇所に○又は必要事項の記載をお願いします。

確認事項	指定管理者による確認結果																					
1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。 労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません。（労働基準法（以下「法」という。）第15条）	<table><tr><td>就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している</td><td>労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している</td><td>労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない</td><td>労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している</td><td>労働契約締結時には明示していない</td></tr><tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr></table> （3～5については、改善が必要です）	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない	①	2	3	4	5											
就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																		
①	2	3	4	5																		
2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また、就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。 常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません。（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません。（法第106条）	<table><tr><td rowspan="2">常時使用する労働者は10人未満である。</td><td colspan="4">常時使用する労働者が10人以上である</td></tr><tr><td>作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている</td><td>作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない</td><td>作成してあるが、監督署に届け出ていない</td><td>作成していない</td></tr><tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr></table> （3～5については、改善が必要です）	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である				作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない	①	2	3	4	5							
常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																					
	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																		
①	2	3	4	5																		
3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。 休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません。（法第35条）	<table><tr><th colspan="4">週休2日制</th><th colspan="2">週休1日制</th><th>その他</th></tr><tr><td>完全（毎週）</td><td>月3回</td><td>隔週</td><td>月1～2回</td><td>週1日</td><td>4週4日</td><td>4週3日以下</td></tr><tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr></table> （7については、改善が必要です）	週休2日制				週休1日制		その他	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	①	2	3	4	5	6	7
週休2日制				週休1日制		その他																
完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																
①	2	3	4	5	6	7																

確認事項	指定管理者による確認結果																						
4 年次有給休暇 年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。 年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません。(法第39条)	<table border="1"> <tr> <td>法定どおりの年次有給休暇を与えている</td><td>年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている</td><td>年次有給休暇を与えていない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> (2、3については改善が必要です) ※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。) <table border="1"> <tr> <td>勤続年数</td><td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>4.5</td><td>5.5</td><td>6.5以上</td></tr> <tr> <td>付与日数</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>14</td><td>16</td><td>18</td><td>20</td></tr> </table> ※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。	法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない	①	2	3	勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上	付与日数	10	11	12	14	16	18	20
法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない																					
①	2	3																					
勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上																
付与日数	10	11	12	14	16	18	20																
5 健康診断 定期健康診断を実施していますか。 常時使用する労働者については、年1回定期に健康診断を行わなければなりません。(労働安全衛生規則第44条) なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期に健康診断を行わなければなりません。(労働安全衛生規則第45条)	<table border="1"> <tr> <td>毎年1回以上定期的に行っている</td><td>年によって行ったり行わなかったり一定しない</td><td>行ったことがない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> (2、3については、改善が必要です)	毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない	①	2	3																
毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない																					
①	2	3																					
6 最低賃金 地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。 なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。 ①臨時に支払われる賃金(結婚手当等) ②1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等) ③所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金 ④精皆勤手当、通勤手当、家族手当	<table border="1"> <tr> <td>支払っている</td><td>支払っていない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td></tr> </table> (2については、改善が必要です。) 【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】 (時給制の場合) 時間によって定められた賃金 (時間給) $\geq$ 地域別最低賃金 (時間額) (A) (B) (日給制、週給制、月給制の場合) 日、週、月等によって定められた賃金 $\div$ 当該期間における所定労働時間数(日、週、月によって所定労働時間が異なる場合には、それぞれ1週間、4週間、1年間の平均所定労働時間数) $\geq$ 地域別最低賃金 (時間額) (A) (B)	支払っている	支払っていない	①	2																		
支払っている	支払っていない																						
①	2																						

確認事項	指定管理者による確認結果																												
7 割増賃金 時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。 法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません。(法第37条) ※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。	時間外労働・深夜労働について <table border="1"> <tr> <td>2割5分以上の割増率にしている</td><td>2割5分未満の割増率にしている</td><td>時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> (2、3については改善が必要です。) 休日労働について <table border="1"> <tr> <td>3割5分以上の割増率にしている</td><td>3割5分未満の割増率にしている</td><td>休日労働をさせているが、支払っていない</td></tr> <tr> <td>①</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> (2、3については改善が必要です。)	2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない	①	2	3	3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない	①	2	3																
2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない																											
①	2	3																											
3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない																											
①	2	3																											
8 雇用保険、健康保険及び厚生年金保険の加入 当該指定管理施設で勤務する従業員は、雇用保険、健康保険及び厚生年金保険に加入していますか。 また、未加入者がいる場合は、その理由を記載してください。 ※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつばら従事する従業員(令和〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">従業員数</th><th colspan="2">雇用保険</th><th colspan="2">健康保険</th><th colspan="2">厚生年金保険</th></tr> <tr> <th>加入数</th><th>未加入数</th><th>加入数</th><th>未加入数</th><th>加入数</th><th>未加入数</th></tr> <tr> <td>9</td><td>8</td><td>1</td><td>8</td><td>1</td><td>6</td><td>3</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>保険の名称</th><th>未加入者がいる理由</th></tr> <tr> <td>雇用保険</td><td>週20時間勤務未満の為</td></tr> <tr> <td>健康保険</td><td>週20時間勤務未満かつ収入88,000円未満の為</td></tr> <tr> <td>厚生年金保険</td><td>70歳以上の為</td></tr> </table>	従業員数	雇用保険		健康保険		厚生年金保険		加入数	未加入数	加入数	未加入数	加入数	未加入数	9	8	1	8	1	6	3	保険の名称	未加入者がいる理由	雇用保険	週20時間勤務未満の為	健康保険	週20時間勤務未満かつ収入88,000円未満の為	厚生年金保険	70歳以上の為
従業員数	雇用保険		健康保険		厚生年金保険																								
	加入数	未加入数	加入数	未加入数	加入数	未加入数																							
9	8	1	8	1	6	3																							
保険の名称	未加入者がいる理由																												
雇用保険	週20時間勤務未満の為																												
健康保険	週20時間勤務未満かつ収入88,000円未満の為																												
厚生年金保険	70歳以上の為																												